

An aerial photograph of a rural village, likely in Japan, showing a mix of green fields, dense forests, and clusters of buildings. A prominent road or railway line runs through the center. The text is overlaid in a large, bold, red font.

誰もが笑顔で生き生きと暮らし
夢を叶えられる大衡村

目次

1. 現状の課題

2. 大衡村の主な地方創生推進事業

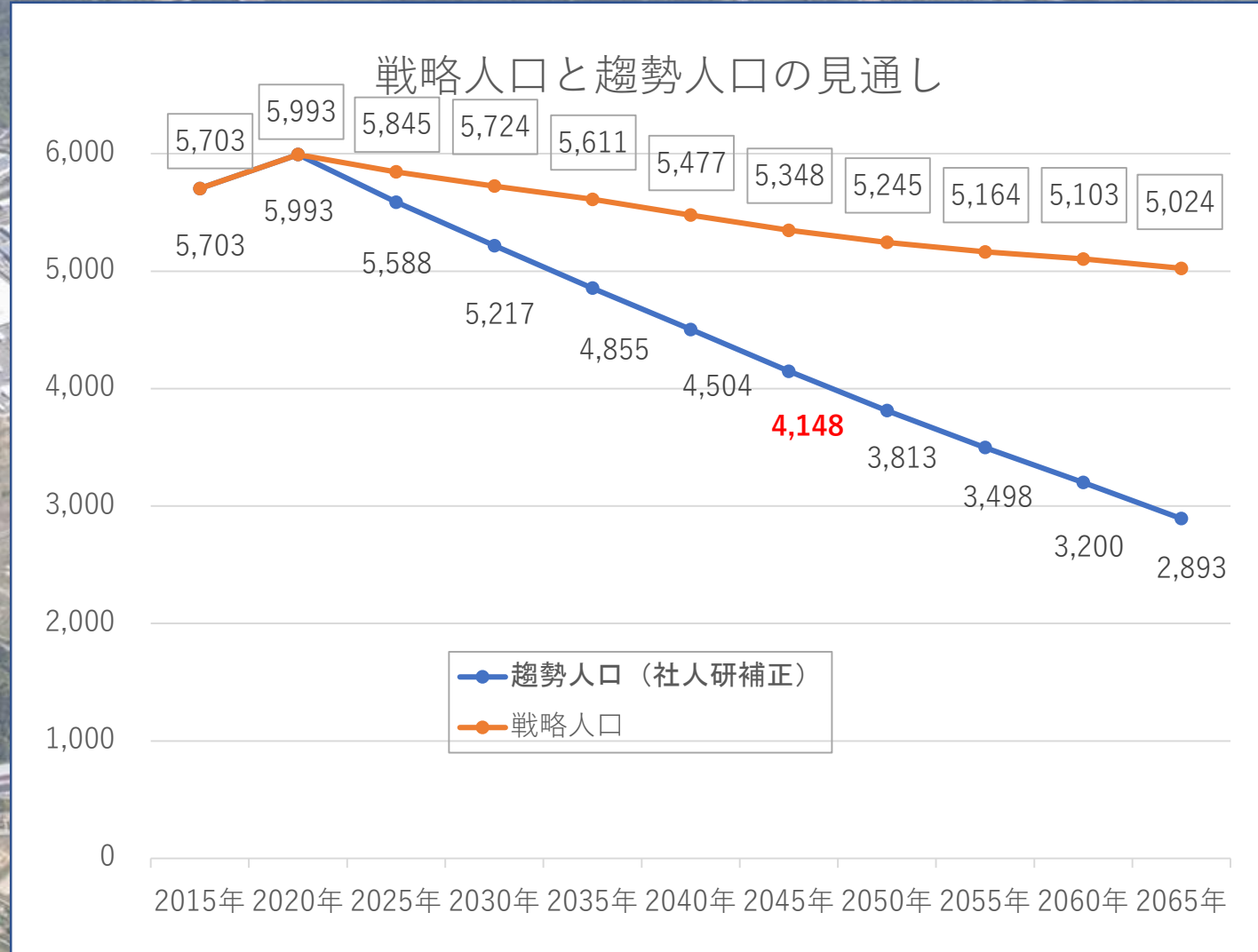
3. 寄付企業のメリット



1. 現状の課題

本村の人口は現在5,569人ですが、国立社会保障・人口問題研究所によれば、令和27年には4,148人まで減少すると推計されています。

本村は、約5,600人の人口規模ではありますが、住民同士がふれ合いながら地区活動を展開しており、良好なコミュニティが育まれております。しかしながら、人口減少・少子高齢化が現実となっており、今後は、労働力の低下・地域活力の低下、地域コミュニティの担い手不足などが課題となっております。



2.大衡村まち・ひと・しごと創生推進事業

これらの課題に対応するため、4つの基本目標を掲げて具体的な事業を実施することで、本村の人口規模や地区のコミュニティを基本としながら本村を持続するために、みんなで支えあい、村の強みを生かし、弱みを克服して、村全体でのコミュニティづくりを展開することにより、行政サービスが確実に受けられる中で、子どもや若者世代、高齢者、障害者等の全世代・多様な人々が村全体で交流することができ「誰もが笑顔で生き生きと暮らし、夢を叶えられる大衡村」を目指します。



2.大衡村まち・ひと・しごと創生推進事業

①大衡村への新しいひとの流れをつくる

将来を担う新たな若者世帯の増加を図るとともに、若者のU・I・Jターンや三世代互いに支えあう環境づくりの促進に向けて、本村の魅力やライフスタイル等の情報を広く発信しつつ、移住・定住希望者の住まいの確保に向けて宅地開発を促進

①「若者世帯定住促進事業」

(村外から新規転入される若者世帯を応援)

②「三世代同居促進事業」

(新たに三世代同居等をする子育て世帯を応援)



2.大衡村まち・ひと・しごと創生推進事業

②若い世代の妊娠・出産・子育ての希望をかなえる

未来を担う子どもたちの健全な成長を願い、安心して子どもを産み育てられる環境づくりの具体的事業

- ①「18歳までの医療費助成」（平成14年から開始した医療費助成）
- ②「5万円の子育て支援券の交付」（妊婦に対してタクシー利用と紙おむつ・粉ミルク購入に利用できる子育て支援券の交付）
- ③「5万円の出産祝金」と「3万円の小中学校入学祝金」
- ④「小中学校の給食費の無償化」
- ⑤「公営大衡塾」（令和3年から開設した小学5年生から中学生を対象とする公営学習塾）



3. 寄付企業のメリット

- 約9割の税控除
- 社会貢献をPR
(各メディアにプレスリリースします)
- 感謝状を贈呈
(村の広報紙やHPに掲載します)

ぜひ、大衡村の地方創生関連事業の推進に
ご理解・ご支援を賜りますよう
お願い申し上げます



大衡村PR大使 ひら麻呂

